

# JR連合 政策News

第226号

2012年8月27日

## JR連合国会議員懇談会がJR貨物の瓦礫輸送現場を視察！

JR貨物の瓦礫輸送支援に向けてJR貨物社長と意見交換！

JR連合国会議員懇談会は、JR連合及び貨物鉄産労とともに、8月27日、東京都中央清掃工場及び東京貨物ターミナル駅において、JR貨物が取り組む瓦礫輸送の状況等について視察を行った。

JR連合国会議員懇談会は、東日本大震災からの早期復興を進めるべく、復興の妨げになっている被災県の瓦礫を速やかに処理することが重要であり、そのためにも広域瓦礫処理の輸送側としてJR貨物の取り組みを支援することを確認しており、今回の視察はその一環として行われた。国会議員懇談会から榛葉賀津也副会長（参）、伴野豊副会長（衆）、岩本司農水副大臣（参）、尾立源幸参議院議員の国会議員4名と多くの議員秘書が参加、JR連合からは坪井会長ら執行部6名、貨物鉄産労から山崎委員長、南関東ロジスティクス労組から杉山委員長らが参加した。またJR貨物からは、小林取締役会長、田村代表取締役社長ら会社幹部が参加した。

まず一行は、東京都中央清掃工場において、瓦礫を満載した専用コンテナ車からの廃棄作業や当該専用コンテナ車の洗車作業などを見学した。続いて東京ターミナル駅に移動し、瓦礫専用コンテナの取卸し作業などに関する視察を行った。

その後に行われたJR貨物との意見交換で、冒頭JR貨物田村社長より、「東日本大震災からの早期の復興に際して、瓦礫処理は重要な取り組みと認識。人道的観点からもJR貨物としては広域瓦礫輸送に積極的に取り組んでいく所存である」と挨拶。JR連合国会議員懇談会の議員からは「復興に貢献する瓦礫輸送の進捗が進んでいない状況である。我々国会議員懇談会としても、政府・自治体に要請していく所存である。鉄道貨物の一層の取り組みに期待したい」「JR貨物の環境優位性をさらにアピール



する取り組みに期待したい」「鉄道貨物のガレキ輸送が全国の広範囲に展開できる戦略を支援していく」などの意見が出された。

今後JR連合は、JRの代表産別の視点から、JR貨物の経営安定化そして鉄道貨物へのモーダルシフトにむけて中長期的な視点に立った政策課題の解決を図るため、今後プロジェクト会議を発足させ、JR連合国会議員懇談会と連携を取りながら精力的に取り組んでいく。その一環として広域瓦礫輸送に際してJR貨物を積極的に活用するよう関係方面に働きかけを行っていく。

